

参考2

○ あいち地域循環圏形成プラン（2017年3月策定）

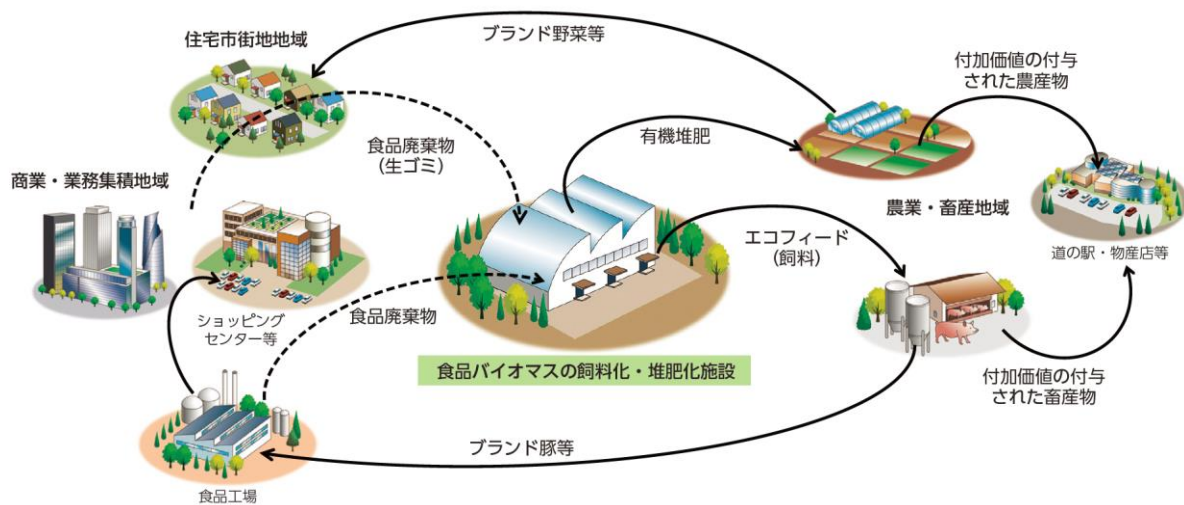
本県の持つ自動車産業を中心とした厚い産業集積や、全国有数の農業基盤、豊かな森林資源などの多様な地域ポテンシャルを生かした新たな資源循環モデルの展開、循環ビジネスの振興、持続可能な社会を担う人材の育成や資源循環に関する情報の発信などの取組を、多様な主体との連携の下で進め、「循環の環」が重層的に展開する「地域循環圏」を実現させ、循環型社会の形成を目指す計画です。あいち地域循環圏形成プランについては、以下の県資源循環推進課 Web ページからダウンロードできます。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/junkankenkeiseiplan.html>

- 「広域循環モデル推進事業」とは、あいち地域循環圏形成プランに基づき、持続可能な地域づくりを進めるため、地域の未利用バイオマス資源である「食品廃棄物」、「未利用木材」、「家畜排せつ物」を活用した先進的なビジネスを具体化する事業です。本県では、次の3つのモデルの具体化を目指しています。

①地産地消の推進と一体となった食品循環ループ

農業や畜産業とも連携し、食品廃棄物の飼料化・堆肥化を通じた農畜産物の高付加価値化など、地産地消の推進と一体となった食品循環ループの展開を目指していきます。

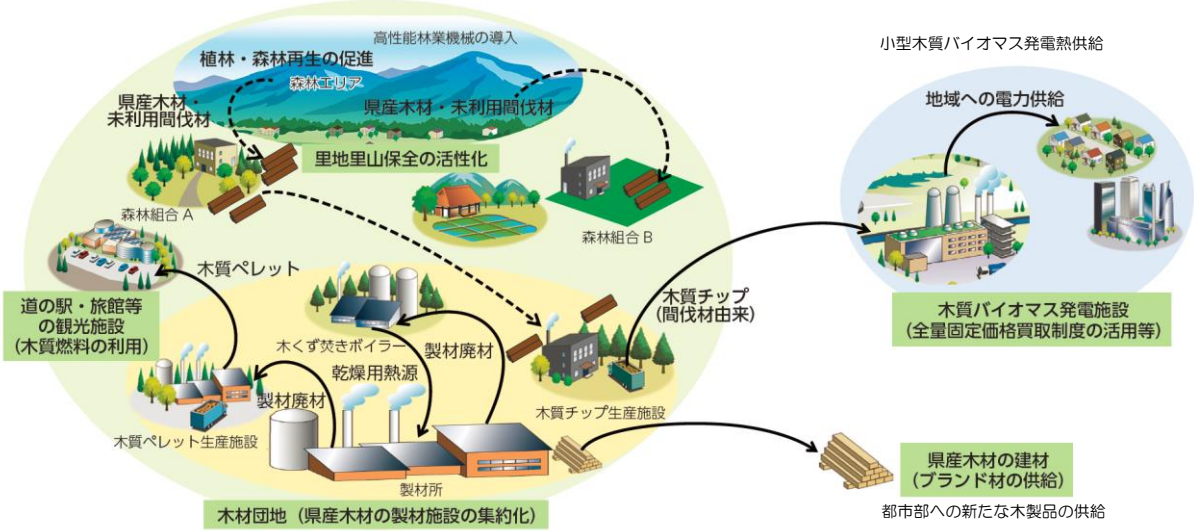


想定される関係者の一例

食品廃棄物排出者、食品リサイクル業者、畜産農家、耕種農家、農協、飼料メーカー、小売店、廃棄物収集運搬業者、食品流通業者、プラントメーカーなど

②森林保全対策等と連携した里山循環圏モデル

森林保全対策なども連携しながら、里地里山保全事業を推進するとともに、林地残材や端材などの未利用木材を活用した木質バイオマスの燃料化によるエネルギー利用や都市の木質化などの取組等を図っていきます。

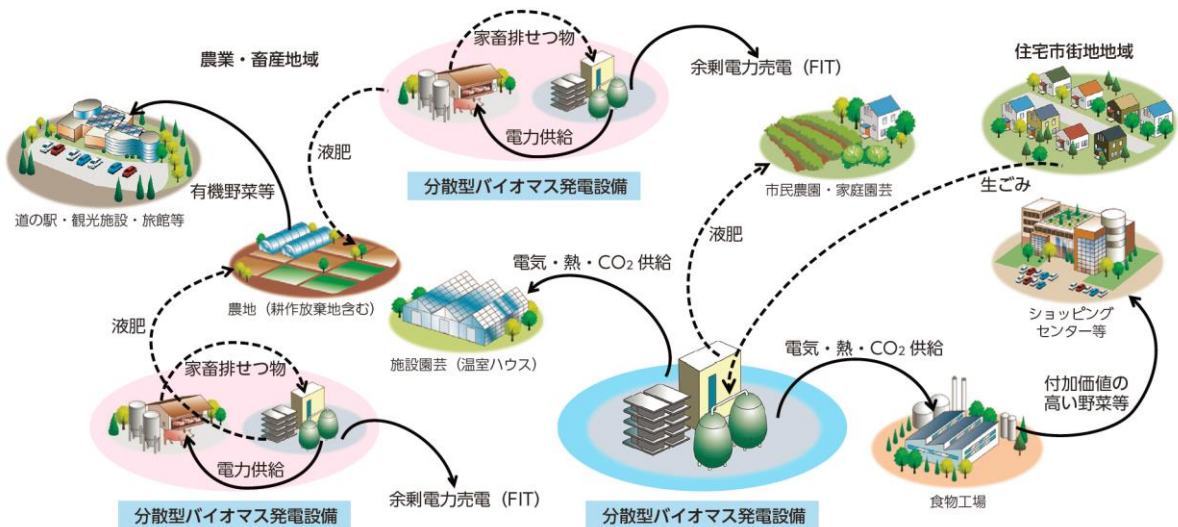


想定される関係者の一例

林業事業者、森林組合、伐採工事業者、木材製造・加工業者、建築工事事業者、リフォーム事業者、土木工事業者、木工製品製造者、観光施設、温浴施設、電力会社、小売店、収集運搬業者、プラントメーカーなど

③農畜産場等を核とした分散型バイオマス活用モデル

技術開発が急速に進む分散型のバイオマス発電施設等を整備し、家畜排せつ物等のエネルギー利用の促進を図るとともに、バイオマス発電で排出される液肥等を地域の農場に還元する取組の展開を目指していきます。



想定される関係者の一例

畜産農家、耕種農家、農協、小売店、食品廃棄物排出者、食品リサイクル業者、廃棄物収集運搬業者、電力会社、プラントメーカーなど